

2006
No.637

11
NOVEMBER

広報

しいば

村内を彩る紅葉（大河内溪谷）

3年ぶりの開催！

笑顔と汗でコミュニケーション

平成18年度 第38回

椎葉村民体育大会



10月8日、村総合グラウンドで台風災害の影響により2年連続の中止となっていた第38回椎葉村民体育大会が開催されました。大会では陸上競技や団技などの多彩な種目に幼児から高齢者まで、約800人の村民が参加。心地良い汗をかきながらコミュニケーションを図りました。

この大会は村内10地区を6団に分けて行われていますが、ただ勝敗を競い合うだけでなく、スポーツを通じた交流と村民の健康増進を目指しています。参加者は、3年ぶりの開催を喜び合いながらスポーツの秋を楽しんでいました。



▲椎葉豊さん(青団)の選手宣誓で大会がスタート。

■総合成績

【女子の部】

1位:青団 2位:赤団 3位:白団

【男子の部】

1位:黄団 2位:青団 3位:紫団

【団技の部】

1位:赤団 2位:青団 3位:黄団

【総合の部】

1位:青団 2位:赤団 3位:黄団

■各団の編成

青団 (上椎葉)

桃団 (鹿野遊・仲塔)

白団 (不土野・尾八重)

赤団 (尾向)

紫団 (大河内・小崎・榎尾)

黄団 (松尾)





▲子どもと高齢者が一緒に挑戦した団技「年の差なんて」。

■個人成績（1位のみ）
〔トラックの部〕

共通男子2000m	6分05秒
①米田 透（黄）	
中学女子1000m	15秒09
甲斐 明季（黄）	
20代女子1000m	16秒08
尾前 美鈴（赤）	
20代男子1000m	13秒37
平井 慎（紫）	
30代女子1000m	16秒02
寺原 美穂（青）	
30代男子1000m	12秒08
椎葉 聖哉（青）	
40代女子1000m	15秒76
那須美代子（青）	
40代男子1000m	13秒72
高島 清行（青）	
50代男子1000m	13秒92
宇賀 邦雄（青）	
50代女子60m	10秒15
那須 邦子（白）	
中学男子2000m	25秒43
椎葉慎太郎（白）	



▲大会を盛り上げた黄団の応援「よさこいソーラン」。

共通男子2000m
榎川 真（桃） 25秒28
中学生男女混成600R
黄団 1分25秒
年代別女子550mR
青団 1分33秒
年代別男子900mR
赤団 2分08秒
一般女子400mR
青団 1分04秒
一般男子800mR
赤団 1分48秒

〔フィールドの部〕

34歳以下男子砲丸投5・45kg	11m21
河口 友昭（黄）	
34歳以下女子砲丸投2・75kg	9m70
榎川沙緒里（桃）	
35歳以上男子砲丸投4・00kg	12m76
甲斐 秀二（黄）	
35歳以上女子砲丸投2・75kg	9m46
椎葉 優子（白）	
34歳以下男子走幅跳	5m60
岡村 亮二（黄）	



▲うまく行かないところが面白い団技「なかよしボールリレー」。

35歳以上男子走幅跳
②椎葉 幸司（紫） 5m40
共通女子走幅跳
尾前 慶子（赤） 3m55
共通男子走高跳
①甲斐 裕一（黄） 1m75

〔小学生学年対抗〕

小学1年女子60m	11秒77
尾前萌々花（椎葉小）	
小学1年男子60m	11秒86
山本 悠介（松尾小）	
小学2年女子60m	11秒42
那須 葵（松尾小）	
小学2年男子60m	10秒96
甲斐 拓篤（松尾小）	
小学3年女子100m	10秒96
谷口 泰翔（椎葉小）	
小学3年男子100m	17秒86
椎葉 三令（椎葉小）	
小学4年女子100m	16秒97
①右田 悠晶（小崎小）	
小学4年男子100m	16秒83
①尾前 佐知（尾向小）	
小学4年男子1000m	16秒61
椎葉 駿輔（椎葉小）	



▲ゴール直前で逆転劇があった一般男子800mリレー。

小学5年女子1000m
①桐原 美優（椎葉小） 16秒17
小学5年男子1000m
湯川 達也（椎葉小） 16秒69
小学6年女子1000m
①那須 結香（鹿野遊小） 15秒53
小学6年男子1000m
中瀬 大士（小崎小） 15秒80

〔団技の部〕

一般団技「なかよしボールリレー」	優勝 赤団
一般団技「ナイスイン」	優勝 赤団
一般団技「年の差なんて」	優勝 赤団
一般団技「みんなでリレー」	優勝 青団
一般団技「平家の里つなひき合戦」	優勝 紫団
一般団技「おらが館長No.1」	優勝 青団

※種目・氏名・(所属団)・記録
①は大会新、②は大会タイ

優勝 大河内公民館

高齢者をみんなでお祝い

椎葉村高齢者福祉まつり

9月28日、村体育館で村高齢者福祉まつりが開催されました。当初予定の同18日（敬老の日）から台風接近のため延期となりましたが、会場には村内65歳以上の高齢者や地域住民、福祉関係者など約700人が来場。高齢者による活動発表やアトラクション、各種相談コーナー、椎葉の昭和30年前後を撮影したふるさと写真展など多彩な催しを楽しみました。



▲村内から多くの高齢者が参加し賑わいました。

また、80歳以上の高齢者全員に

村から記念品が贈られたほか、村内に住む100歳以上の方の紹介や村内小学生による感謝の作文朗読も行われるなど、村全体で祝福しました。本村における9月1日現在の65歳以上人口は、1,278人。高齢化率34.7%となっています。村老人クラブの尾川 源会長（三方界）は、「2年連続の台風災害から日々復興へ近づいていることを嬉しく思っている。こんな大変な時期に私たち高齢者のために盛大な催しを開いてもらい皆さんに感謝したい」と話していました。



▶椎葉晃充村長がもつすく百歳を迎える参加者最高齢の松岡サンさん（下松尾）を祝福。

待望のバイパスが全線開通

中椎葉トンネル完成

10月11日、国道265号の中椎葉トンネル（延長878m）が完成し、総延長1080mの中椎葉バイパスが全線開通しました。このバイパスは日向市や熊本県と本村中心部を結ぶ基幹道路であり、ひむか神話街道ともつながる重要な観光ルートとなります。これまで通行していた中椎葉隧道は一車線で片側通行、さらに3.5mの高さ制限もされていましたが、今



▲大型車もスムーズに通行できるようになった中椎葉バイパス。

回の開通によりこれらの交通支障が解消されました。

同日行われた開通式には、平成13年度からこの事業を進めてきた県土木部関係者のほか、村長や地権者など30人が出席。テープカットやパレードをして完成を喜び合いました。以前より通行時間が2分短縮され、災害に強い道路として大きな期待が寄せられています。



▶村長や関係者によるテープカット。

秋の交通安全運動で 街頭キャンペーン

9月21日、国道327号沿いの村物産センター平家本陣前で「秋の全国交通安全運動」の街頭キャンペーンが行われました。今年の運動期間中（9月21日～9月30日）のスローガンは「交通安全ゆずる優しさ 待つゆとり」。街頭では、高齢者の交通事故防止など運動の重点目標を進行中のドライバーに呼び掛けました。



現在、災害復旧工事のピークや本格的な観光シーズンを迎えた影響により交通量が増加。事故を起さないためにも、相手を思いやる交通マナーが求められています。村民の皆さんも期間中にかかわらず、交通弱者である高齢者や子どもへの配慮をより願います。

村内全地区で 交通安全座談会

9月20～30日にかけて村内全地区で平成18年交通安全座談会が開催されました。これは交通安全協会椎葉支部が交通安全の啓発と本村の現状把握のために毎年行っているもので、村内全域で延べ708人のドライバーが出席しました。



各会場では交通安全に関する映画の上映や宮崎県警による講話のほか、優良運転者の表彰、各地域における問題点を協議した座談会も行われました。これから始まる神楽や忘年会シーズンで飲酒する機会も増えてきますが、全国的な問題となつてきている飲酒運転。決断してハンドルを握らないよう互いに注意したいものです。

めざせ宮崎県一！ 椎葉生産者研修大会

9月26日、村開発センターで平成18年度椎葉村椎葉生産者研修大会が開催されました。同大会は村椎葉部会（中瀬裕会長）が主催したもので、村内の生産者や関係者など80人が出席。県経済連椎葉流通センターの野崎修氏による情勢報告、また先進地である諸塚村椎葉選別場の甲斐健二氏を招いて研修会を行いました。



今年度の県品評会では諸塚村に次ぐ総合2位という結果でした。本村椎葉は品質については高い評価を得ていますが、課題として選別技術を高めることが求められています。中瀬会長は「この研修会で技術の向上を図り、来年こそは宮崎県一を目指して所得向上につなげたい」と話していました。

椎葉村老人クラブが 県知事表彰



宮崎市でこのほど開催された第31回宮崎県老人クラブ大会で、本村老人クラブの活動が高い評価を受け表彰されました。

10月3日、役場村長室で表彰伝達式が行われ、椎葉晃充村長より受賞された方々に表彰状と記念品が手渡されました。

■宮崎県知事表彰

【団体の部】松尾松竹会

【個人の部】尾川 源さん

■宮崎県老人クラブ連合会長表彰

那須善次郎さん

(尾八重ひえつき会)

黒木 緑さん (仲塔長寿会)

甲斐哲雄さん (向山福寿会)

右田房代さん (大河内長寿会)

椎葉 平家まつり 2006 特産品 コンテスト

10月24日、村開発センターで椎葉平家まつり2006特産品コンテストが行われました。同コンテストは、むらおこしグループ連絡協議会（右田美佐子会長 14グループ）と平家まつり実行委員会が主催。事前に公募した料理と加工品の各4部門に同グループや一般の方から56作品が出品されました。

専門家や村内の旅館民宿組合など8人の審査員が試食しながら、味・外観・食材・独創性などについて審査。結果、次の作品が選ばれ同日表彰されました。なお、今回入賞した加工品部門については商品に村の認定シールを貼って、早ければ11月10日に始まる平家まつりの会場で販売されます。



■最優秀賞 「練りみそ」
桑の実会

【加工品部門（漬物・総菜）】



■最優秀賞 「完熟梅ジャム」
むらおこしグループ夢織会

【加工品部門（菓子）】



■最優秀賞 「よもぎのパバロア」
椎葉喜久子さん（松木）

【料理部門（デザート）】



■最優秀賞 「あんかけイモ姫」
河野美津代さん（岩屋戸下）

【料理部門（ご飯・おかず）】



【料理部門（デザート）】
■優秀賞「青梅大福」
中竹 栄さん（栗ノ尾）

【料理部門（ご飯・おかず）】
■優秀賞「椎葉特産たっぷりゼリー」
上椎葉児童館ママチーム



【加工品部門（菓子）】
■優秀賞「梅干ジャム・梅酒梅ジャム」
むらおこしグループ夢織会

【加工品部門（漬物・総菜）】
■優秀賞「こんにやく」
山ゆり会



平成18年度椎葉神楽日程表

(平成18年10月末現在)

日程	神楽名	神楽宿	代表者
11月	18日～19日	奥村神楽	民家 那須辰夫
	22日～23日	柵尾神楽	柵尾神社拝殿 黒木武太郎
		村椎神楽	間柏原集会センター 椎葉告
	23日 (昼神楽・地元のみ)	畑・鳥の巣神楽	畑・鳥の巣公会堂 椎葉誠
	25日 (夜中まで)	栗の尾神楽	栗の尾宮農研修センター 中竹数夫
	25日 (昼間・地元のみ)	合戦原神楽	合戦原王宮神社拝殿 黒木武男
25日～26日	小崎神楽	小崎神社 右田幸一	
12月	2日 (昼間・地元のみ)	大河内神楽	大河内神社拝殿 椎葉順一
	2日～3日	嶽の枝尾神楽	民家 椎葉和男
		不土野神楽	不土野集会センター 椎葉邦博
		向山日添神楽	峰越の館(向山日添公民館) 椎葉吉人
	9日 (夜中まで)	古枝尾神楽	古枝尾集会センター 那須宗則
	9日～10日	尾前神楽	尾前神社拝殿 尾前秀久
		大藪神楽	大藪集会センター 高松今朝光
		上椎葉神楽	民家 椎葉信紘
	10日 (昼神楽)	水越神楽	水越宮農センター 那須照賢
	16日～17日	十根川神楽	十根川神社拝殿 那須良市
		向山日当神楽	向山日当集会センター 椎葉芳一
23日～24日	追手納神楽	会場未定 椎葉道生	
	夜狩内神楽	夜狩内集会センター 那須朝光	
未定	仲塔神楽		黒木福美
	矢立神楽		椎葉真吾
	木浦神楽		那須義美
	胡摩山神楽		那須義雄
	財木神楽		那須福美
	若宮神楽		山中登
	松木神楽		椎葉隆信

※日程の変更もありますので、事前に確認をお願いします。

■問い合わせ先：椎葉民俗芸能博物館

(TEL0982-68-7033 FAX0982-68-7031)

まもなく1年を締めくくる祭り「神楽」の季節が訪れます。400年以上の歴史を持つ椎葉神楽。平成3年には国の重要無形民俗文化財に指定されました。村内27地区に伝承されてきたこの祭りには、山の暮らしや神の信仰を表す椎葉独自の文化と歴史が刻まれ、またそれを支えてきた人々の想いが込められてきました。

今年行われる神楽の日程や会場等については次のとおりです。

椎葉神楽が始まります

国の重要無形民俗文化財



ご存じですか？ 神楽見学のエチケット

- ①神楽は集落の例祭です。地元のお祭りに参加する気持ちを持ちましょう。
- ②地元のお祭りでは、1人あたり供物（焼酎2升程度）か金一封（2～3千円程度）を持っていく習わしになっています。
- ③10名以上の団体の方は、事前に保存会へ連絡してください。
- ④ビデオや写真撮影をされる方は、事前に保存会・神楽宿の了解を得てください。



椎葉村公式HPが

リニューアル

椎葉村公式ホームページがリニューアルされました。携帯電話からもアクセスして情報が見られるようになったほか、村民プログラム（参加者募集中）など新しいコーナーも始まりました。詳しくはホームページをご覧ください。詳しくは企画観光課（☎0982-6713203）までお尋ねください。



<http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp>
へ今すぐアクセス

椎葉 晃充 村長の



10月の動き

- 3日 老人クラブ表彰伝達式
(村長室)
- 11日 中椎葉トンネル開通式
(中椎葉)
- 12日 県選出国会議員要望活動
(東京都)
- 16日 道路整備促進大会 (宮崎市)
- 17日 国有林野所在市町村有志会
(宮崎市)
- 20日 民生委員児童委員郡ブロック
研修 (村開発センター)
- 22日 日向村人会 (日向市)
- 24日 臨時議会 (議場)
椎葉平家まつり2006特産品
コンテスト (村開発センター)
- 27日 戦没者追悼式
(村開発センター)



▲審査員を務めた
特産品コンテスト (24日)

椎葉村

スポーツ少年団 秋季大会

とき 平成18年10月21日(土)
ところ 椎葉村体育館
総合グラウンド

■ソフトボール

- 優勝 松尾イーグルス
- 準優勝 尾向小ソフトボール
- 第3位 杉の子ファイターズ
- 第4位 小崎小ソフトボール同
好会 (オープン)

■バレーボール

- 優勝 椎小フレンズクラブ
- 準優勝 松尾少女バレー

■剣道

【団体戦】

- 優勝 椎葉小少年剣道A
- 準優勝 小崎少年剣道
- 第3位 椎葉小少年剣道B
- 第4位 尾向少年剣道

【個人戦】

- ・1年生の部
 - 優勝 尾前萌々花 (椎葉)
 - 準優勝 黒木 響生 (小崎)
 - 第3位 那須 滲佳 (小崎)
- ・3年生の部
 - 優勝 尾前 篤了 (椎葉)
 - 準優勝 那須 杏理 (小崎)
 - 第3位 甲斐真菜佳 (尾向)
- ・4年生の部
 - 優勝 椎葉 駿輔 (椎葉)
 - 準優勝 長友 沙樹 (椎葉)
 - 第3位 尾前 彩夏 (椎葉)
- ・5年生の部
 - 優勝 椎葉 章和 (小崎)
 - 準優勝 椎山晋之介 (椎葉)
 - 第3位 尾前ちはる (尾向)
- ・6年生の部
 - 優勝 那須 俊 (椎葉)
 - 準優勝 椎葉 康平 (椎葉)
 - 第3位 椎葉裕二郎 (椎葉)

※2年生の部は出場者なし



はぐくむ

②

椎葉村小中学校長会

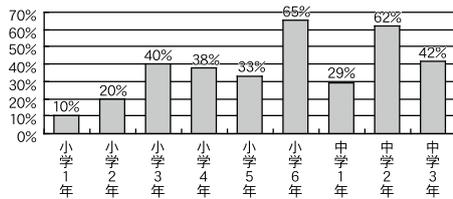
家庭学習の充実を

先月号で、村内小中学生の家庭学習の状況についてお知らせしましたが、今回はそのことと関連して、テレビやゲームの時間について考えたいと思います。

■子どものテレビやゲームに関わっている時間

アンケート調査の結果は左図（1日2時間以上視聴）のとおりです。前回の「家庭学習ができるか」の結果で、小学6年と中学2年の落ち込みがみられた事と深く関係しているようです。

テレビ・ゲーム視聴時間（1日2時間以上）



その中身を詳しく分析してみると、小学校では、学年が上がるに従って1日の平均視聴時間も増え、3時間以上と答えた児童が4年生22%、5年生18%、6年生が21%でした。中学生は

3時間以上が1年生14%、2年生24%、3年生9%でした。一方で全くないという児童生徒も少数ながらみられます。

■我が家のルールを決めよう

中学3年生は、3ヶ月後には高等学校入学試験が始まります。自分の将来も含めた進路目標達成のために大きな壁を乗り越えなければなりません。

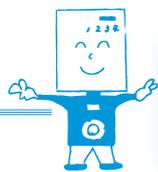
この時期、最も大きな悩みは試験に合格できるかどうか、学力の問題です。

義務教育9年間の勉強量を3ヶ月の短期間で取り戻すことは容易ではありません。

それぞれの家庭で毎日の積み重ねを大切にするために「我が家のルール」を話し合い、ぜひ、具体的な約束事を決めて実践しましょう。



▲松尾中の授業の様子。



広報しいば・やまびこ通信 モニター協議会だより



生き生きサロンで子どもたちと交流

畑鳥ノ巣・榎峠集落の老人クラブ松寿会（24人）は、花いっぱい推進運動で県知事表彰を受けるなどとても元気な皆さんです。毎年夏休みには子どもたちを招いて生き生きサロンの交流会も行っています。

今年も14人の子どもたちと水鉄砲や縄跳び、竹トンボ飛ばしなど昔の遊びを一緒に楽しみました。中でも一番人気の水鉄砲遊びでは、水を掛け合いながらいつの間にか少年のようになつていたおじいちゃん。子どもたちも「楽しかった。来年もまた遊びにきたい。」とお礼の作文を書いてくれました。松寿会の皆さんも来年は何をしようかと今からうれしそうでした。サロンのある日がとても待ち遠しいようです。

（松尾地区モニター委員 中竹 栄）



楽しかった運動会

9月24日、椎葉小で第39回上椎葉公民館運動会が開催されました。2年連続の中止で寂しかった分、みんなが楽しみにしていました。各団に別れて競うことはもちろんのこと、夜みんなで集まって応援の練習をしたり、打ち合わせをしたりと普段できないコミュニケーションをとることができました。内容もいろいろな工夫されて、老若男女みんなが参加できるプログラムでした。

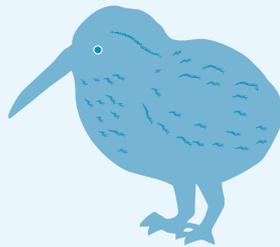
そして、翌週の10月1日は椎葉小運動会。少々肌寒い一日でしたが、みんなが見守る中、子どもたちはいつもの力を二生懸命に出し切っていました。運動会には椎葉中生徒も参加しましたが、その成長の速さにはただただ驚くばかり。後片付けまで手伝ってくれて大変嬉しかったです。また、訪れた地域の方から椎葉小の子どもたちに優しくしてもらったとお褒めの言葉を聞くことができ、とても気持ちのいい運動会でした。

（上椎葉地区モニター委員 尾前聡子）





Kiaora



■椎葉村外国語指導助手

Anna Dwyer

アナ ドウワヤー
(ニュージーランド出身)

Over the last few weekends I have had the pleasure of attending both Shiiba-chu and Matsuo-chu sports festivals and the village sports day. I am not sure if all chugakko sports days across Japan are like these but I am sure they all have their own idiosyncrasies that make them so much FUN!! full of energy and a fantastic part of what Japan is so famous for 'team work' as opposed to individualism.

Both sports days were packed full of events for everyone! From pre-school kids to primary school, right through to the adults and the elderly. I was impressed that everyone was included which made for even more fun. Three games stand out most and they were 'the Caterpillar relay (Mukade koso),'Tug of war' (Tsunaheki) and 'Ball in the basket' (Nice-In), of which the catching part I was so terrible at. In fact I was so bad at it I was demoted to having my basket taken off me. That was hilarious! We don't have any of these games in New Zealand, so it was a real treat , and I will be sure to introduce them when I get back. Along with all the dancing and chanting, marching and music it was truly fantastic and the co-ordination amazing! I was especially moved by the energy and dedication the students put into their practices and how everyone had a role, no one was left out.

In New Zealand we have school sports days to see who will qualify for the inter-school sports day. Only the best will go through. So perhaps there is a little more emphasis on competition and winning and certainly lacks any form of dancing, except maybe a "Haka" !

Well, its nearly Autumn and the night time stream sides are a light with fishermen BBQing their catch in the fresh cool air. Whilst hiking on the mountain tops last week to my surprise the leaves had began to take on the autumnal colour hues. The Kake (persimmon trees) are full of autumn coloured fruits and about the village the beautiful kimokusai ('orange osmanthus' or the 'fragrant Olive') fills the air with its delicious sent. I think this has to be my favorite season in Shiiba. But in saying that it's a difficult decision.

This is the perfect temperature to bike everywhere so see you all out and about under the autumnal sky!

この何週間かにかけて、私は椎葉中学校と松尾中学校の体育大会、そして村民体育大会に参加することができ、とても楽しい時を過ごしました。日本の中学校の運動会が皆こんな感じなのかは分かりませんが、体育大会に参加した人々は皆同じような特性を持っていると感じました。それは、彼ら参加者を非常に楽しくさせるもので、エネルギーにあふれ、そして個人主義とはまったく対極の日本ならではの“チームワーク”を形成する言い表しがたい性質なのです。

いずれの体育大会も幼児から小学生そして大人から老人まですべての人々が参加できるたくさんの競技でいっぱいでした。だれもが浮かれた雰囲気の中にまれていることが印象的でした。

どの体育大会でも行われた競技があり、それは“むかで競争”と“綱引き”、そして“ナイスイン”の3つでした。私はナイスインに出場し、ボールを受ける役だったのですが、とてもヘタクソでした。実際なかなかうまくいかず、とうとう背負っていた籠を肩からはずさなければ入りませんでした。とてもおかしな光景でしたよ!! ニュージーランドではこんな競技はなかったので、いい経験だったしニュージーランドに帰ったらみんなに教えようと思います。体育大会はダンスがあつて、唱和があつて、行進があつてそして音楽が流れて本当にすばらしく、びっくりするほど調和がとれていました。私は特に中学校の生徒たちの練習にけるエネルギーと献身さに特に心を動かされました。彼らは一人一人が役割を持ち、だれ一人取り残されることはありません。

ニュージーランドではスポーツ大会の日がありますが、それはだれが全国大会に出場する資格があるかを試すためです。(種目の)優勝者だけが選ばれました。おそらくそれゆえに競技会としてのそして勝敗に重きをおいているのでダンスなどのようなものが欠けているのだと思います。ただし、“ハカ”はありますけど。

さて、ようやく秋になりつつあります。秋の涼しい夜空に広がる天の川が漁師の漁り火のようにきらめいて見えるようになりました。先週山の頂上をハイキングしたときに驚いたことに木の葉が紅葉をはじめているのを見て驚きました。柿の木は赤く色づいた実をたくさんつけ、村のあちこちでは美しい金木犀の花から周囲にいい匂いが漂っています。私は今のところ、この季節が椎葉で一番好きだと思います(そうやってしまうのは難しいですが)。

秋はいろいろな所へハイキングするのにうってつけの季節です。ですから皆さん秋空の下いろいろな所でお会いしましょう!!

和訳：山中千夏さん(桑ノ木原)

椎葉の民話

86



「山女と狩人」

語り手 椎葉頼参さん

(竹ノ枝尾日添)

大正13年2月13日生まれ

昔、松尾の石原ちゆう所え、左近ちゆう名をゆつ①シシ狩りの名人が、おつたとい。その人は、狩の名人でたい、人の知らんことをば、よつ知つとつたちゆうたい。十二支の干支と、日によつては、猪がひん逃げて行く筋をば、頭の中で勘定して、そうして、そんマフシ②鉄砲をば構えとつて、狩をしたちゆうたい。今年、これまでえ、もう九十九頭撃ち殺えたよのつ。そうして、今日は百頭め③じゃちゆうついで、勇んで犬をば連れて、奥山え入つたとい。そして、ちゆうの向き猪が出て来るかちゆうか、ちゆうとこへ、山のでえらな所え④鉄砲をば構えておつたわけたい。そうして、その猪の寝床をば目がけて⑤、五匹ばかりの犬をば放したよのつ。そうしたりやあ、その日限りたい、吠える声⑥のーちもじゃあせん。「キャン」とも言わんから、「い、い、い」も今日はおかしのつと、左近はまあ、不審に思つておつたちゆうたい。じゃが、

待てど暮らせど、犬の吠える声一つせじいおつたといことたいのつ。そうしてのつ、猪の出所を、山のでえらな所え、座つて待ち構えておつたところが、山のてっぺんから、何か人影のようなものが出て来たといのつ。その人影あ峠の方から、ダンダンダンダン、左近のねぎ⑦小走りに歩いて、近寄つて来たじゃあねえや。そうして左近のねぎい、あと五間ちゆうくらいの所えまで来たよのつ。左近が、よくせき見たりやあ、今までえ見たこともねえよのつ。婆さんでたい、白髪⑧のウツポロ髪⑨をば、踵のころまで長つてたい、目ん玉はえららとギラギラ光りしいで、口は耳の根きまで裂けておつたちゆうたいのつ。左近は、今までえ見たことがねえその婆さんに、ひっそり消つて、腰が抜けてのつ、じゃがみ込んでしもつたとい。そうしたりやあ、その婆さんは、左近を睨つて、真つ赤えべるをば、すんべえ⑩出えてのつ。「ゲラゲラゲラゲラ」と、吠えるがごとして、笑つたちゆうたい。そうして左近は、婆さんの風体⑪がおせえ⑫、今まで見たことがねえよのつ。人じゃもんじゃから、震いがきて、腰が抜けてよのつ、そけえ座り込んでしもつたとい。そうして婆さんは、どげえした

かちゆうと、精一杯、笑つたかと思つたりやあ、雲が消ゆるごと、どげえか消えたちゆうたい。左近は、婆さんを見てのつ、また婆さんから、ゲラゲラ、ち笑われたぎり、腰が抜けて、狩ごころじゃねえがと、おぞうなり、這つたり転げたりしてたい、やつかつとめんめえ方⑬に戻つたちゆうたい。そうして戻るがいなや、「はよ床をば、敷いてくれんのつ。俺もつたまらんばい。今日は、こつこつ婆さんに出会つてのつ。こつこつじゃつた、ああじゃつた。」「ちゆうて、一から十まで、家族の者え話したちゆうたい。そうして話をばしよる最中にたい、ガタガタ、ガタガタ、身体から震いがくるもんじやるけえ、家族の者が、「何か飲まんてええや。何か食べてもにやあねえやあ」「ちゆうて聞いたりやあ、「何もいらんども、水だけ飲ませてくれんや」「ちゆうて、それから七日めに、死んでしもつたちゆうたい。その婆さんは、確か山女だつたちゆうことたいのつ。後で思つにはよ。左近が猪をば、九十九頭も獲つて、その上、供養も出して笑つたか、ちゆうと、左近の生き血を吸つたためじゃつた、ちゆうことよのつ。狩人が、「コウサギ祭り⑭もせんで、獲りつ放しに獲つたから、山女に化けて出て、生き血を吸い取るゑ。それも、山女が笑つ中い逃げりやあよかつたじゃるうけんども、おせえちゆうとつたかあ、逃げ失せたい、動けじいおつたといのつ、そつてとつとつち死んだといことたい。

(聞き手 椎葉浪子
西南学院大 林文香・吉田扶希子・
大部志保・森山苑子・宮本真子)

①名をゆつ＝有名な
②マフシ＝猪が出てくる筋道
③百頭目＝山の神は、一年に狩人に獲らせる猪の数を決めてるので、それ以上狩人は獲ることはできないし、実際に獲れもしない。百頭は、神を恐れぬとんでもない数であった。
④でえらな所え＝ゆるやかなところ
⑤猪の寝床目がけて＝マフシで犬が猪を囲むのをタテリといつ。
⑥吠える声＝勢子たちの間では、犬の吠える声は、ウゼリ(吠える前のウーウー)と木工カタ(ワンワン)の二通りといつ。
⑦ねぎ＝側仁
⑧ウツポロ髪＝ざんばら髪
⑨すんべえ＝いっばい
⑩風体＝形相
⑪おせえ＝恐ろしい
⑫めんめえ方＝自分の家
⑬コウサギ祭り＝狩の時、猪に殺された犬を、高さ一メートル程度の柵を作りその上に石を枕にして死骸を寝せて木葉を被せてやつて、祭る。その後、枕石だけ自宅近くに持ち帰り、「コウサギ様」として改めて祭る。
旧正・五・九月のそれぞれ十六日に祭る。
⑭期間、山に入る度に祭り、猪があれれば、御幣と獲物の心臓七切れを供える。

カメラさんぽ



▲素晴らしい展望と四季折々の風景が楽しめる林道笹の峠線。

林道笹の峠線が開通

本村松尾地区と美郷町南郷区を結ぶ林道笹の峠線がこのほど開通し、車で通行できるようになりました。県が森林整備と林業振興を目的として開設工事に着手したのが平成3年。念願の本村側5kmを含む総延長21kmの林道がつながりました。

もともとこのルートは本村と神門(南郷)を結ぶ交易のための往還道で、村民の生活物資が運ばれただけでなく、江戸後期には伊能忠敬測量班の別隊が、明治41年には民俗学者の柳田國男も通った道です。また、林道が通る山頂の「笹の峠」(標高1,340m)は一等三角点が設置されるなど、晴れた日には延岡市や日向灘が見えるほどの展望があり、多くの登山客が訪れています。地元住民からは地域の発展につながる道路として大きな期待が寄せられています。



▲設立祝賀会で行われた記念コンサート。

「楽らく村」がNPO法人としてスタート

福祉作業所「楽らく村」(桑ノ木原、所員11人)が8年の活動を経て、NPO法人椎葉村在宅障害者の福祉を考える会(鈴木克裕理事長)を今年7月に設立。これまでの運営事業を継続させながら地域活動支援センターとして、障害者の自立支援を目的とした幅広い活動を目指しています。

9月30日、村開発センターで行われた設立祝賀会では、支援者なども招いてNPO(特定非営利活動)法人について学ぶ研修会や記念コンサートを開催。参加者は、同会の発展を願いながら将来の可能性が広がった法人設立を祝いました。今後、本村における障害者福祉の充実につながる取り組みが期待されています。



▲高齢者とのふれあい競技「そろりそろりと急ぎましょう」(松尾小)

各地で小学校運動会

10月1日、村内の各小学校で運動会が行われました。あいにく朝から小雨の降る天候で心配されましたが、開会式の後、子どもたちの元気な声が響き始める頃には雨も上がり、どの小学校でも無事に開催することができました。

松尾小(赤木憲昭校長 児童32人)では徒競走やダンス、団技など各学年の児童が団結して一生懸命に練習の成果を披露。応援に訪れた家族や地域の方々も大きな声援を送っていました。また、地元児童館の園児や地域の方々とのふれあい競技も行われ、スポーツの秋にふさわしい笑顔あふれる楽しい運動会となりました。



▲リレーで惜しくも2位。大会を盛り上げた本村チームの皆さん。

椎葉村婦人会がリレーで準優勝

10月12日、県体育館(宮崎市)で平成18年度宮崎県婦人交通安全体育大会が開催されました。この大会は、スポーツを通じた健康保持と体力増進、また地域や家庭における交通安全の確立を目的に県地域婦人連絡協議会が主催。本村からも20人の婦人会員が代表で出場しました。

大会では交通安全に関連した団技「蛇行運転は危ないよ」などの種目が行われたほか、各市町村ごとで競い合ったリレーでは本村チームがわずかの差で準優勝となりました。県内各地から参加した婦人会員の方々は互いの親睦を図りながら、地域の中で安心が求められる交通安全について認識を深めました。

春夏秋冬 まるごと椎葉

「正調ひえつき節」で全国大会入賞

10月12～15日、両国国技館（東京都）で（財）日本民謡協会主催の平成18年度民謡民舞全国大会が開催されました。同大会のメインは、各ブロック各県のグランドチャンピオン66人が競い合う内閣総理大臣賞争奪戦（連合・春季大会代表戦）。本村から九州代表として宇賀邦雄さん（上椎葉下1）が正調ひえつき節で出場しました。

同大会は、過去優勝者がプロ歌手になるなど全国の民謡名人が揃う超難関の大会ですが、その中で見事7位入賞を果たした宇賀さん。「九州代表として入賞でき面目は保てた。さらに満員の国技館で正調ひえつき節が歌えたことは災害復興を目指す元気な椎葉村をPRできた。この大会で全国に仲間が増えたので、今後もひえつき節の素晴らしさを発信していきたい」と今後の抱負を話していました。



▲九州から13人が出場し、入賞者が2人。見事入賞した宇賀さん。

大河内神楽が大阪公演

10月14～15日、日本民家集落博物館（大阪府豊中市）の開館50周年を記念して椎葉神楽（大河内神楽）公演が行われました。同博物館は、岩手県から鹿児島県までの民家11棟が展示されている野外博物館。昭和34年に椎葉村から移築された「日向椎葉の民家（国指定重要文化財）」も展示されていて、今回の神楽公演はこの民家で行われました。

2日間で10番ほどの神楽が昔ながらの形式で行われ、まるで地元のお祭りのような雰囲気の中、一公演で約200人の観客が来場。神楽を真剣に見入っている人も多く大変好評でした。

この民家は移築してから既に47年が経過。茅葺き屋根など建物の傷みもひどく、来月から建物を解体しての修理工事が始まるそうです。国の補助事業や一般寄付金などを受け、数年後の完成を目指しているとのことでした。



▲大阪公演で披露された大河内神楽「かんしい」の勇壮な舞。

椎葉村女性のつどい

10月14日、村開発センターで椎葉村女性のつどいが開催されました。これは村地域婦人連絡協議会（古川アヤ子会長）が主催したもので、同会員など約190人が出席。大会テーマ「健全な青少年育成に向けて私たちに何ができるか ～母として、祖母として、人として～」のもと講演会や出席者全員による合唱などを行いました。

同会は地元活動のほか、子育て支援事業への協力など安心して暮らせる地域づくりを目指しています。今回、宮崎県男女共同参画センター講師派遣事業により「思春期相談室リプロ」の小牟田久子代表（新富町在住）を招き、「思春期の身体と性」と題した講演会を行いました。同氏は、中絶を含む死産率が18年連続全国ワースト1である本県の状況を例にいろいろな問題点を指摘。子どもの性教育や女性の権利保護の必要性を強く訴えました。



▲性教育などに対する意識改革を訴えた小牟田氏の講演。

全員が一つに中学校文化祭

10月22日、椎葉中と松尾中で文化祭が行われました。椎葉中では「Let's make the best memory ～全員の前向きで同じ感動を～」をスローガンに掲げ、これまでの取り組みや学習の成果を発表しました。会場には保護者や地域の方々も多数訪れ、生徒の熱意と才能あふれる研究発表や合唱、展示作品など盛りだくさんの内容に感動しながら見入っていました。

両校の中学3年生にとっては最後の文化祭。もうすぐ受験を控え学校生活も残り少なくなりましたが、この日のためにスローガンどおり全員が一つになって取り組んできたことは、素晴らしい思い出になることでしょう。



▲「絆太鼓」では心をつなげて演奏を披露。

■相談専用電話番号

☎0985-22-3858

■問い合わせ先

県女性相談所

(☎0985-22-3858)

ご存じですか 「税を考える週間」

11月11日～17日までは「税を考える週間」です。この週間は、国民生活に深い関わりを持っている税について、その必要性及び用途や税務行政の現状を分かりやすく説明し、国民の皆様が国の基本となる税に対する理解を深めていただくために設けられているものです。

今年は、「少子・高齢社会と税」をテーマとして、各種の広報・広聴活動を行うことにしています。

■問い合わせ先

延岡税務署

(☎0982-32-3301)

信頼される企業に退職金制度あり！

中退共制度（中小企業退職金制度）は、中小企業で働く従業員のための外部積み立て型の国の退職金制度です。

■メリット

- ①適格年金制度からの移行先です。
- ②掛金の一部を国が助成します。
- ③掛金は全額非課税です。
- ④管理が簡単です。
- ⑤掛金以外の経費がかかりません。

■問い合わせ先

宮崎県労働政策課 労政福祉担当

(☎0985-26-7106)

重度障害者(児)医療費公費負担事業が変わります

重度障害者(児)医療費公費負担事業とは、重度障害者の負担軽減を図るために、医療費の助成を行っているものです。

現在は、対象者となる重度障害

者の方が、医療機関で支払った額について、市町村に助成を申請することで、市町村から※1,000円/月を超える額を還付しています。

■見直される内容

入院については、現物給付になります。現物給付とは、対象者は、医療機関の窓口で、※1,000円/月の自己負担額を支払えば、それ以上の金銭的負担をせずに、医療給付を受けることができるものです。なお、外来については従来どおりです。

■実施時期 平成18年12月から実施いたします。

■実施主体 各市町村

■助成対象者

- ・身体障害「身体障害者手帳所持者（障害程度1級又は2級）」
- ・知的障害「重度の知的障害者（療育手帳A程度）」
- ・合併障害「身体障害者手帳所持者（障害程度3級）、かつ中度の知的障害者（療育手帳B1程度）」

■自己負担額 1,000円/月

※非課税世帯は0円です。

■所得制限 老齢福祉年金に準じる

■助成方法・外来「従来どおり」
・入院「現物給付」

■問い合わせ先

村福祉保健課 福祉係

(☎68-7513)

障害者相談事業が始まります

障害者や障害児の保護者のさまざまな相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための援助をします。日向市から専門相談員が来ますので、障害者の方やその家族の方、どなたでもお気軽にご相談ください。なお、相談は無料です。また、電話相談のほか要望があれば自宅訪問も行います。

■相談場所

村保健センター「すこやか館」

■相談日予定表

・身体（相談員 日向市障害者生活支援センターあしすと）

11月28日・12月26日・1月23日・

2月27日・3月27日（毎月第4火曜日 10時～12時）

・知的（相談員 白浜学園）

11月15日・12月20日・1月17日・

2月21日・3月22日（毎月第3水曜日 10時～12時）

・精神（相談員 地域活動支援センターはまゆう）

11月14日・12月20日・1月12日・

3月2日（13時30分～15時）

■問い合わせ先

村福祉保健課 福祉係

(☎68-7513)



平成19年度児童館・保育所入園申込について

平成19年度の各児童館・保育所の入園受付を次のとおり実施します。

■受付日時

平成18年11月21日(火)

・児童館 午前9時～午前10時

・保育所 午後3時半～午後4時

■受付場所

最寄りの各児童館、保育所にて行います。

■対象児

生年月日が平成13年4月2日から平成16年4月1日まで(ただし、保育所については生年月日が平成16年9月30日までの幼児に対して相談に応じます。)

■その他

・受付時に印鑑、保険証を持参ください。

・現在入園中の園児で、平成19年度も引き続き入園を希望する場合も新たに申込をしてください。(申込用紙は各児童館、保育所で配布します。)

・新入園児については、子どもさんと一緒に来て申込手続きをしてください。

■問い合わせ先

村福祉保健課 福祉係

(☎68-7513)

お知らせ

11月

- 椎葉村ホームページ
http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp
- 広報Eメールアドレス
tadataka@vill.shiiba.miyazaki.jp

村内の動き ● 10月1日現在

男	1,704人 (- 3)
女	1,709人 (- 5)
計	3,413人 (- 8)
世帯数	1,277戸 (- 2)

お知らせ

11月の納税について

11月は、国民健康保険税（6期）の納税月です。期限内(11月30日)までに納付していただきますようお願いいたします。また、その他公共料金等も納期内納付にご協力ください。

■問い合わせ先

村税務住民課
(☎67-3205)

行政相談の開催について

行政相談が次のとおり行われます。行政に関することならどんなことでもけっこうですので、気軽にご相談ください。

- 日時 12月12日(火)10時～15時
- 場所 椎葉村高齢者センター

製造事業所の皆様へ「平成18年工業統計調査」について

経済産業省では、工業統計調査を平成18年12月31日現在で実施します。工業統計調査は、製造業を営むすべての事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。調

査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学の研究資料、小中学校の教材など広く利用されているところです。

調査にあたっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いしますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、皆様から提出された調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確にご記入をお願いします。

■お問い合わせ先

村企画観光課
(☎67-3203)

夕暮れ時の「早めの点灯」・「ピカピカ運動」について

毎年、秋から年末にかけて、夜間、特に薄暮時に重大な交通事故が多発する傾向にあることから、早めの点灯と反射材の積極的な利用を推進し、交通事故の防止を図っています。

■期間

平成18年10月1日～12月31日

■運動の重点

- ・運転者は「午後5時点灯、こまめな切り替え及び速度の抑制」
- ・自転車利用者は「早めの点灯、反射材の装着」
- ・歩行者は「目立つ服装及び反射材の着用」

■実施機関

宮崎県・宮崎県交通安全対策推進本部
(☎0985-26-7054)

11月は児童虐待防止月間です

子どもは、親の所有物ではありません。親が「しつけ」という理由で行っている行為であっても、子どもに著しい苦痛を与えたり、成長に悪影響を及ぼしたりする行為は虐待です。大切なことは、子

どもの視点・立場で考えるということです。社会から虐待をなくすためにも、「他人の子のことだから」と無関心でいるのではなく、少しでも気になることがあれば、迷わず関係機関に通告しましょう。

法務局では、子どもの人権に関する問題を専門に扱う「子どもの人権110番」を設置しています。なお、児童虐待の通告は、児童虐待防止法により国民の義務とされています。

■問い合わせ先

宮崎地方法務局
「子どもの人権110番」
(☎0985-20-8747)

子どもに関する電話相談「子ども・ほほえみダイヤル」について

「子ども・ほほえみダイヤル」は、県中央児童相談所に設置された電話相談専用窓口です。選任の電話相談員が親身になって子どもに関する相談に応じています。夜間や土日祝日も受付していますので、お気軽にご利用ください。

■受付期間 9:00～24:00(通年)

■専用電話番号

0985-28-4152
(よいこに)

■問い合わせ先

県中央児童相談所
(☎0985-28-4152)

配偶者などからの暴力に関する電話相談について

県女性相談所では、専任の女性相談員が配偶者(夫・内縁の夫・離婚した夫)や恋人からの暴力(DV=ドメスティックバイオレンス)などさまざまな問題で悩んでいる方からの相談に応じています。秘密は厳守しますので、ぜひご相談ください。

■受付時間

- ・平日(月～金) 9:00～20:30
- ・土日 9:00～15:00

日向東臼杵 南部圏域情報

「門川神社大祭」

■期日 平成18年11月23日(木)

■場所 門川神社

■内容 古くからの戦勝を祝って踊ったものと伝えられる小園臼太鼓踊り。秋の済んだ空に白い幟が美しく映えるこの踊りが大祭の見どころです。この小園臼太鼓踊りは、豊臣秀吉の出兵に関連していて陣中で舞われたものといわれています。踊りの手順は、人を集める道鏡から始まり、出兵の内容が踊りの各部分に入る静と動の流れで構成されています。現在では小園臼太鼓踊り保存会の手により受け継がれ奉納されています。

■問い合わせ先 門川町観光協会
(☎0982-63-1140)



暮らしに役立つ

「平成19年版 宮崎県民手帳」

購入申込について

宮崎県統計協会では、平成19年用宮崎県民手帳の購入予約の受付を始めました。仕事や日常生活に役立つ情報満載で、使いやすいポケットサイズです。価格は1冊500円。椎葉村では、各組合長を通じて購入をとりまとめていきますので、希望される方はそれぞれ各組合ごとにお申し込みください。

■申込締切日

平成18年11月30日(木)

■問い合わせ・購入先

企画観光課(☎67-3203)



戸籍だより(9月分)

出生 おめでとく

椎葉 淳一朗ちゃん
(松木) 洋一郎・由佳さん

椎葉 心咲ちゃん
(桑ノ木原) 吉秋・千春さん

死亡

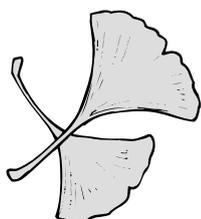
ご冥福をお祈りいたします

甲斐カヲリ様(九十三歳) 旧岩屋戸
那須サカエ様(九十七歳) 夜狩内
椎葉ユキエ様(八十四歳) 上椎葉中2

香典返し

故人の遺志を尊重し活用させていただきます

故 椎葉ユキエ様(上椎葉中2)
故 那須サカエ様(夜狩内)
故 甲斐カヲリ様(旧岩屋戸)



12月の主な行事とお知らせ

- 上旬 椎葉神楽
(～下旬 村内各地)
- 4日 椎葉郷土芸能の夕べ
(椎葉民俗芸能博物館 午後8時～)
- 5日 三種混合予防接種
(～5日) 県中学校秋季体育大会
- 8日 禁煙教室(椎葉中)
- 12日 風疹予防接種(村立病院)
- 14日 2歳児歯科健診
(すこやか館)
- 19日 BCG予防接種
(すこやか館)
- 20日 MR・麻疹予防接種
(村立病院)
- 22日 小中学校2学期終業式
- 28日 官公庁仕事納

しいば俳句会

選評・角 光雄先生（あじろ主宰）

《特選》

稲刈機観光バスとすれちがふ

那須 正

〔評〕道幅の狭い所で、いわば朴訥と瀟洒がすれ違う。一つは労働、もう一つは娯楽のために通行しているのだ。日常よく見かけることだが作者の思いは深いものがある。

名月や一笛あらば酒うまし

小丸川河童

〔評〕今年の大阪の中秋の名月は、少し雲を配して立派だった。掲句は既に酒を酌み交わしている。ここで嫋嫋たる笛の音を聞きたいと言う。分からぬでもないが、やや古風に過ぎないか。河童君。

今日の月村の隅々まで照らす

山本 和枝

〔評〕満月の夜はまるで昼のようだと表現する。家ならば軒下まで、道ならば草までも月光あまねし。屋根の下にはそれぞれ家族が憩いの時を過ごすのだ。平和なる椎葉の村の秋。

《入選》

牧舎見ゆる阿蘇高原や鹿の声

中瀬 汀

鈴虫の声聴きながら針仕事

椎葉シヅ子

九州の屋根明るくて月今宵

山本 和枝

秋彼岸墓地へつづける坂の道

那須 瑞穂

山々の道案内に彼岸花

黒木八重子

奥山へ友を呼びあふる鹿の声

山茶 之実

稲架けの棚田の景色かはらざる

那須 正

里住みは茸ごはんの夕べかな
天日うけずしりと重き稲穂かな
いわし雲母校湖底に五十年

俳句募集!! なたでも投句できます。毎月10日までに気軽に企画観光課へ送ってください。(郵送・FAX可)

BOOK CORNER



母は悩む! 現役ママの本音炸裂・エッセイ&マンガ!

「高野優の育児ガチンコ宣言!」 高野 優 (講談社)



びよちゃんといっしょに「おやすみなさい」を言いたくなるしかけがいっぱい! の楽しい絵本。寝る前の読み聞かせにぴったり。

「びよちゃんのおやすみなさい」 いりやま さとし (学研)



新聞を読んでしあわせになる! 全国から届いたHAPPYNEWSの集大成(椎葉村の記事も掲載されています)。

「心がほかほかするニュース」 (社) 日本新聞協会



HNK「おはよう日本」で紹介されました。10歳で脳腫瘍の発病。車いすで通った学校。少女が綴った命の詩と絵の記録。この本の中の詩には、生きることへの素直な気持ちがいっぱいつまっています。

「いのちのいろえんぴつ」 豆島 加純 (教育画劇)

■ここで紹介した本は、村開発センター図書室で貸し出しています。(教育委員会 ☎67-2850)

「みんなの声」を募集しています!

このコーナーでは皆さんの椎葉への想い、「広報しいば」の感想などを募集しています。どんなことでも結構ですので気軽にお寄せください。なお、ペンネームやEメールでの投稿も受け付けます。
〒883-1160-1
宮崎県東臼杵郡椎葉村下福良1747-20
椎葉村企画観光課 「広報しいば」係
(FAX可) 0982-167-2882(5)

今月の表紙 Cover Message



大河内溪谷の紅葉。今年は台風被害もなかったせいか、昨年より葉が多く残って見応えのある紅葉となりました。村内各地の名所ではカメラを手にした観光客がたくさん訪れ、自然が描き出す四季の移り変わりを目で楽しんでいました。この紅葉が終わるともつすべ冬です。

編集後記

Editor's Comment

▼10月14〜15日、大阪府豊中市で行われた椎葉神楽公演を本紙しいば俳句会の選評などでお世話になっている角光雄先生ご夫妻(大阪府枚方市在住)も見学されたそうです。電話で感想を伺った際に「とても興味深かった。椎葉に行ってみてみたい」と話しておられました。何百年も受け継がれて来た独特の雰囲気と山々に響く太鼓と笛の音。今年はどこに行こうかと今から楽しみにしています。(正)

おすすめの一品

「高冷地いちごジャム」



■生産者
菓子加工グループ秋桜

■価格と内容
・1個(90g入) 320円

椎葉村の高冷地で育ったイチゴと宮崎県産のへべ酢をミックスして、コクのある甘酸っぱいジャムに仕上げました。酸味が効いてさっぱりしていますので、パンなどにもぴったりです。ぜひご賞味ください。

■問い合わせ・販売先

椎葉村物産センター「平家本陣」

(TEL) 0982-67-3139

(FAX) 0982-67-3144



カエデ科カエデ属。椎葉の紅葉も本格的になる11月です。明るい森林の中下層で、橙色や黄色に色づくカエデの代表がオオモミジです。本種とよく似た庭園に植栽されるイロハカエデより葉が大型で、葉の縁には小さくて比較的そろったギザギザ(鋸歯)が並んでいます。紅葉時に赤変するカエデが多いのですが、本種はきつと赤色系色素のアントシアンの含有量が少ないため黄葉するのでしょうか。特に葉が細長く深く裂けたものをフカギレ(深切れ)オオモミジと区別しますが、本村ではこれら2種をひとまとめにして「はなもみじ」と呼んでいます。夏

から秋にかけてプロペラのような果実が葉下に垂れ下がります。樹高約10m、幹の直径30~40cmぐらいまで成長し、九州から北海道までの冷涼な環境の温帯林に生育する日本固有種です。近年は鹿による食害で小さな木は山中では見られなくなりました。



(九州大学宮崎演習林 内海 泰弘・井上 晋)

未来にはばだけ!



椎葉海祥稀 ちゃん
(上椎葉中2)

平成16年12月13日生まれ
おとうさん：芳満さん
おかあさん：恵利佳さん

椎葉の民謡ひえつき節を唄うのが大好きです。これからもお兄ちゃんと仲良く元気に育ってね!



桑原 朱李 ちゃん
(桑ノ木原)

平成16年10月29日生まれ
おとうさん：崇さん
おかあさん：恵さん

アンパンマンが大好きな甘えん坊さんです。お姉ちゃんたちに負けないような元気で優しい男の子でいてください。

Face in November

那須 雅志さん (28歳：十根川)

勤務先：那須牧場(自営)
趣味：カラオケ・牛を見ること

椎葉に帰ってきて4年。和牛120頭(親牛70頭・子牛50頭)を牧場で飼育していますが、現在牛舎を増築中。今後さらに増やしていきたいと考えています。皆さん、見晴らしのよい那須牧場へ遊びに来ませんか! たくさんの牛とゴールデンレトリバーのジャックがお待ちしています。

